

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月28日

上場会社名 日本ロジテム株式会社
 コード番号 9060 URL <http://www.logitem.co.jp>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中西 弘毅

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経理部長 (氏名) 川口 要

TEL 03-3433-6711

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年12月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	17,853	2.3	168	△14.3	146	3.8	62	△27.9
23年3月期第2四半期	17,457	0.9	197	8.8	140	29.0	87	527.1

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △42百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △59百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	4.59	—
23年3月期第2四半期	6.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	29,327	10,001	33.5
23年3月期	29,480	10,117	33.7

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 9,818百万円 23年3月期 9,923百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
24年3月期	—	4.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,500	1.1	580	60.0	450	84.8	165	△17.6	12.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	13,833,109 株	23年3月期	13,833,109 株
24年3月期2Q	146,533 株	23年3月期	146,335 株
24年3月期2Q	13,686,643 株	23年3月期2Q	13,687,264 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表等	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響による今夏の電力供給の制約および原発事故による放射線被害に加え、海外の金融不安を反映した円高と株価の低迷が進行するなど、景気の先行きが不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する物流業界につきましても、個人消費の低迷による国内貨物の減少、燃料価格の高騰、企業間競争の激化等により、取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、「日本一信頼される企業グループ」を目指し、収益力の向上および経営基盤の強化、国際物流事業の拡大、CSR（企業の社会的責任）経営の推進を経営目標としてグループ一丸となって取り組みました。

営業収益につきましては、復興需要に伴う建材関連の取扱高の増加に加え、食品関連をはじめとする一部既存得意先に対する取引範囲が拡大したことなどから、増収となりました。営業利益につきましては、販売費及び一般管理費が減少したものの賃借倉庫の契約満了に伴う原状回復費用の発生、燃料費の高騰ならびに一部得意先の取引範囲の拡大に伴い倉庫オペレーション費用が一時的に嵩んだこともあり、減益となりました。経常利益につきましては、受取利息および為替差益等の営業外収益が増加したため増益となりましたが、四半期純利益につきましては、法人税等の負担額が増加したことなどから、減益となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は178億53百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益は1億68百万円（同14.3%減）、経常利益は1億46百万円（同3.8%増）、四半期純利益は62百万円（同27.9%減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

①貨物自動車運送事業

営業収益につきましては、当社および阪神ロジテム株式会社において、食品関連の既存得意先に対する取引範囲が拡大したことなどから、増収となりました。一方で、営業利益につきましては、日本国内およびベトナムにおいて燃料価格が高騰したことなどから、減益となりました。その結果、営業収益は88億48百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益は4億95百万円（同13.6%減）となりました。

当事業の営業収益は、当社グループ営業収益全体の49.6%を占めております。

②センター事業

営業収益につきましては、当社において、食品関連の既存得意先に対する取引範囲の拡大および震災の影響に伴い一時的に食品関連の取扱数量が増加したことなどから、増収となりました。一方で、営業利益につきましては、一部得意先の取引範囲の拡大に伴い倉庫オペレーション費用が一時的に嵩んだこともあり、減益となりました。その結果、営業収益は29億40百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益は2億11百万円（同17.9%減）となりました。

当事業の営業収益は、当社グループ営業収益全体の16.5%を占めております。

③アセット事業

営業収益につきましては、当社において、震災の影響に伴い食品関連の取扱数量の増加により一時的に賃貸倉庫の面積が増加したほか、前年同期と比べ倉庫稼働率が向上したことなどから、増収増益となりました。その結果、営業収益は30億22百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は3億97百万円（同10.2%増）となりました。

当事業の営業収益は、当社グループ営業収益全体の16.9%を占めております。

④その他事業

営業収益につきましては、ロジテムエージェンシー株式会社において、得意先工場内の請負業務が縮小したものの、ロジテムエンジニアリング株式会社において、復興需要に伴う仮設住宅の内装工事を受注したことなどから、増収増益となりました。その結果、営業収益は30億41百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益は3億98百万円（同5.0%増）となりました。

当事業の営業収益は、当社グループの営業収益全体の17.0%を占めております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、受取手形及び営業未収入金が41百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて62百万円増加し、80億10百万円となりました。固定資産は、建物及び構築物が2億3百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて2億15百万円減少し、213億16百万円となりました。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて1億53百万円減少し、293億27百万円となりました。

(負債)

流動負債は、短期借入金が2億64百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて1億90百万円増加し、102億18百万円となりました。固定負債は、長期借入金が2億55百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて2億27百万円減少し、91億7百万円となりました。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて37百万円減少し、193億25百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、為替換算調整勘定が1億24百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて1億15百万円減少し、100億1百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は18億5百万円となり、前連結会計年度末と比較して、56百万円の資金の増加（前年同期比62百万円増）となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、利息の支払が85百万円あったものの、減価償却費が4億99百万円あったこと等により、3億31百万円の資金の増加（前年同期比1億84百万円減）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が1億49百万円あったこと等により、1億12百万円の資金の減少（前年同期比18百万円減）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入が6億50百万円あったものの、長期借入金の返済による支出が10億89百万円あったこと等により、1億20百万円の資金の減少（前年同期比2億39百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期の業績予想につきましては、今後の不透明な経営環境を勘案し、下期計画の進捗状況等を見て判断していくため、前回予想を据え置いております。今後、修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,116,135	2,132,323
受取手形及び営業未収入金	4,533,551	4,575,276
その他	1,308,725	1,312,934
貸倒引当金	△10,096	△9,995
流動資産合計	7,948,316	8,010,539
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,191,148	4,987,315
土地	6,811,190	6,811,190
その他(純額)	1,590,159	1,640,455
有形固定資産合計	13,592,498	13,438,961
無形固定資産	803,712	753,245
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,549,038	5,341,658
その他	1,643,973	1,832,547
貸倒引当金	△56,616	△49,729
投資その他の資産合計	7,136,395	7,124,476
固定資産合計	21,532,606	21,316,683
資産合計	29,480,922	29,327,222
負債の部		
流動負債		
営業未払金	2,102,084	2,008,776
短期借入金	5,598,874	5,863,110
賞与引当金	323,816	323,658
その他	2,003,704	2,023,017
流動負債合計	10,028,480	10,218,562
固定負債		
社債	1,470,000	1,450,000
長期借入金	4,819,277	4,563,795
退職給付引当金	450,712	446,637
役員退職慰労引当金	342,406	351,858
その他	2,252,470	2,294,763
固定負債合計	9,334,868	9,107,055
負債合計	19,363,348	19,325,618

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,145,955	3,145,955
資本剰余金	3,190,060	3,190,060
利益剰余金	4,504,675	4,512,780
自己株式	△36,401	△36,442
株主資本合計	10,804,290	10,812,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△22,143	△10,532
為替換算調整勘定	△858,424	△983,100
その他の包括利益累計額合計	△880,568	△993,632
少数株主持分	193,852	182,883
純資産合計	10,117,574	10,001,604
負債純資産合計	29,480,922	29,327,222

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業収益	17,457,454	17,853,791
営業原価	15,886,220	16,348,802
営業総利益	1,571,234	1,504,988
販売費及び一般管理費		
人件費	904,474	881,684
その他	469,680	454,380
販売費及び一般管理費合計	1,374,155	1,336,065
営業利益	197,079	168,923
営業外収益		
受取利息	6,510	21,195
受取配当金	6,067	6,340
受取手数料	10,319	11,120
持分法による投資利益	10,379	13,475
その他	31,732	27,199
営業外収益合計	65,010	79,330
営業外費用		
支払利息	104,004	88,532
その他	17,122	13,436
営業外費用合計	121,126	101,969
経常利益	140,962	146,285
特別利益		
固定資産売却益	2,907	5,031
貸倒引当金戻入額	13,422	—
特別利益合計	16,330	5,031
特別損失		
固定資産除売却損	7,085	3,185
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	29,620	—
その他	879	435
特別損失合計	37,585	3,621
税金等調整前四半期純利益	119,707	147,695
法人税、住民税及び事業税	72,120	83,418
法人税等調整額	△49,903	△25,580
法人税等合計	22,217	57,837
少数株主損益調整前四半期純利益	97,489	89,857
少数株主利益	10,295	27,005
四半期純利益	87,194	62,852

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	97,489	89,857
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,259	11,902
為替換算調整勘定	△136,169	△143,931
持分法適用会社に対する持分相当額	△159	△399
その他の包括利益合計	△156,588	△132,428
四半期包括利益	△59,098	△42,570
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△50,596	△50,212
少数株主に係る四半期包括利益	△8,501	7,642

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	119,707	147,695
減価償却費	506,404	499,115
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△310,339	△6,560
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△64	1,484
退職給付及び役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△13,424	7,379
受取利息及び受取配当金	△12,578	△27,535
支払利息	104,004	88,532
持分法による投資損益 (△は益)	△10,379	△13,475
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△2,217	△1,845
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	29,620	—
売上債権の増減額 (△は増加)	231,411	△75,538
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△28,332	△6,446
仕入債務の増減額 (△は減少)	△202,036	△77,700
その他	286,579	△73,494
小計	698,354	461,611
利息及び配当金の受取額	19,249	33,134
利息の支払額	△97,622	△85,048
法人税等の支払額	△104,295	△78,107
営業活動によるキャッシュ・フロー	515,685	331,590
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△155,017	△149,559
無形固定資産の取得による支出	△29,732	△35,294
敷金及び保証金の差入による支出	△32,037	△42,889
敷金及び保証金の回収による収入	58,789	223,619
預り保証金の返還による支出	△10,906	△7,139
その他	38,627	△100,815
投資活動によるキャッシュ・フロー	△130,277	△112,080
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	700,000	650,000
長期借入金の返済による支出	△1,058,740	△1,089,494
社債の発行による収入	391,565	392,915
社債の償還による支出	△270,000	△360,000
リース債務の返済による支出	△43,628	△90,661
配当金の支払額	△54,933	△54,825
少数株主への配当金の支払額	△24,839	△18,611
その他	—	449,958
財務活動によるキャッシュ・フロー	△360,576	△120,719
現金及び現金同等物に係る換算差額	△29,942	△41,817
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,110	56,973
現金及び現金同等物の期首残高	1,707,981	1,748,945
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,702,871	1,805,919

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成 22年4月1日 至 平成 22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貨物自動車 運送事業	センター 事業	アセット 事業	計				
営業収益								
外部顧客への営業収益	8,760,199	2,874,124	2,977,138	14,611,463	2,845,990	17,457,454	—	17,457,454
セグメント間の 内部収益又は振替高	—	—	13,659	13,659	1,200	14,859	△14,859	—
計	8,760,199	2,874,124	2,990,797	14,625,122	2,847,190	17,472,313	△14,859	17,457,454
セグメント利益	574,142	257,258	360,888	1,192,290	379,161	1,571,451	△1,374,372	197,079

(注) 1 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、報告セグメントに関連する事業(引越移転事業、施工関連事業、輸出入貨物取扱事業、通関事業、港湾関連事業、労働者派遣事業、損害保険代理業、物品販売業、総合リース業、旅客自動車運送事業等)であります。

2 セグメント利益の調整額△1,374,372千円には、セグメント間取引消去△217千円、各セグメントに配分していない全社費用△1,374,155千円が含まれております。全社費用は、主に各セグメントに帰属しない総務、人事、経理等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成 23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貨物自動車 運送事業	センター 事業	アセット 事業	計				
営業収益								
外部顧客への営業収益	8,848,941	2,940,426	3,022,765	14,812,133	3,041,658	17,853,791	—	17,853,791
セグメント間の 内部収益又は振替高	—	—	13,659	13,659	1,200	14,859	△14,859	—
計	8,848,941	2,940,426	3,036,424	14,825,792	3,042,858	17,868,650	△14,859	17,853,791
セグメント利益	495,976	211,131	397,765	1,104,873	398,235	1,503,108	△1,334,185	168,923

(注) 1 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、報告セグメントに関連する事業(引越移転事業、施工関連事業、輸出入貨物取扱事業、通関事業、港湾関連事業、労働者派遣事業、損害保険代理業、物品販売業、総合リース業、旅客自動車運送事業等)であります。

2 セグメント利益の調整額△1,334,185千円には、セグメント間取引消去1,879千円、各セグメントに配分していない全社費用△1,336,065千円が含まれております。全社費用は、主に各セグメントに帰属しない総務、人事、経理等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。